

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢交流センター管理運営費							
担 当 課 係 名	田沢出張所		課	係	作成者	高倉忠子		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	共に参加し行動する市民協同のまち				総合計画の ページ		
	基本計画	地域づくり活動の推進						
	主要施策	地域づくり活動への支援				104		
予 算 費 目	一般	会計	2 款	総務費	1 項	総務管理費	5 目	財産管理費
事 業 期 間	平成	年度	～	平成	年度	新規／継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス		☐ 公共事業		☒ 施設維持管理		☐ 補助金	☐ 内部管理
根 拠 法 令 等	仙北市田沢交流センター条例							
事 務 区 分	☒ 自治事務		☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営		☐ 直営（一部民間委託）		☐ 民間委託（全部）		☐ 補 助	

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の交流により地域の活性化を図ると共に、公共機関の地域拠点として住民福祉の向上に資するため。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施する。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	利用件数	件	268	256
	成果指標	利用者数	人	3,971	3,213
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		3,813	6,509	
	国 庫 支 出 金				
	県 支 出 金				
	地 方 債				
	そ の 他				
	一 般 財 源		3,813	6,509	
	人 件 費 (B)	—	7,853	8,071	
	職 員 数	—	1.0	1.0	
	職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト	—	11,666	14,580	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	43,530	56,953	
	市民1人当たりのコスト(円)	—	366	464	

【事務事業の今までの成果】

田沢地区の市民の利用率は高い、又畳の部屋の利用が多くもっと高い。

投下コスト

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	交流センターの部屋利用の中で一階畳の部屋の利用率がもっとも高い、二階にもあるがやはり高齢の人には二階はつらく、一階にもう一部屋、畳の部屋がほしい

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	田沢の人たちは様々な、催しものに交流センターを利用しています。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	利用件数及び利用者数共に減少している状況であり、利用者のニーズに合わせた施設運営に取組む必要があると考える。

一次評価診断図

